

# インドの近況アップデート

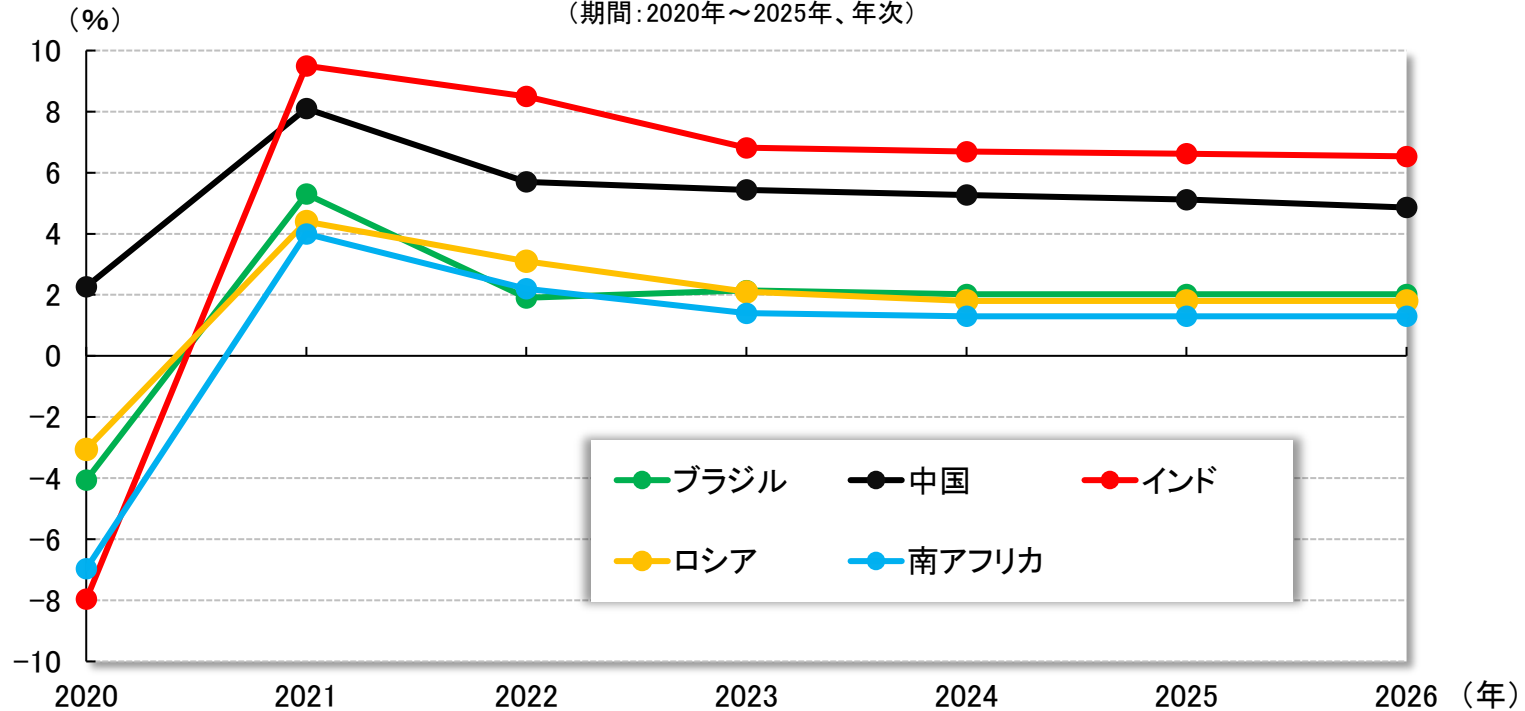
～引き続き明るい成長見通しが続くインド経済～

他の新興国をも上回る成長が続く見通しのインド

- 新型コロナウイルスの感染拡大による全土ロックダウンの影響等によって一時的にインドのGDP成長率は落ち込みましたが、政府による経済対策や、中央銀行による金融緩和等の効果もあり、2021年以降は他の新興国を上回る成長率が続く見通しです。

GDP成長率の比較

(期間: 2020年~2025年、年次)



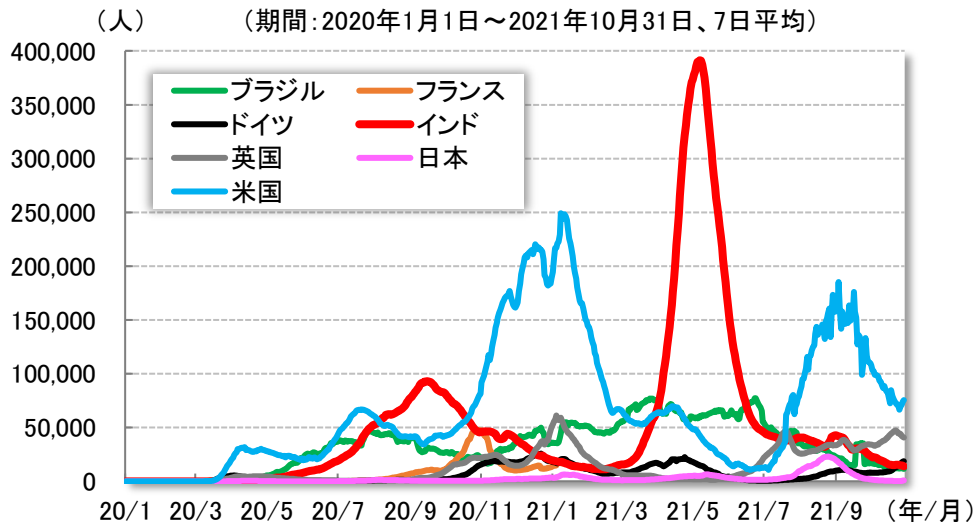
※2020年のインドのみ実績値、それ以外は2026年まで全て予想値。

出所: IMF「World Economic Outlook Database, April 2021」「World Economic Outlook Database, July 2021」のデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成。

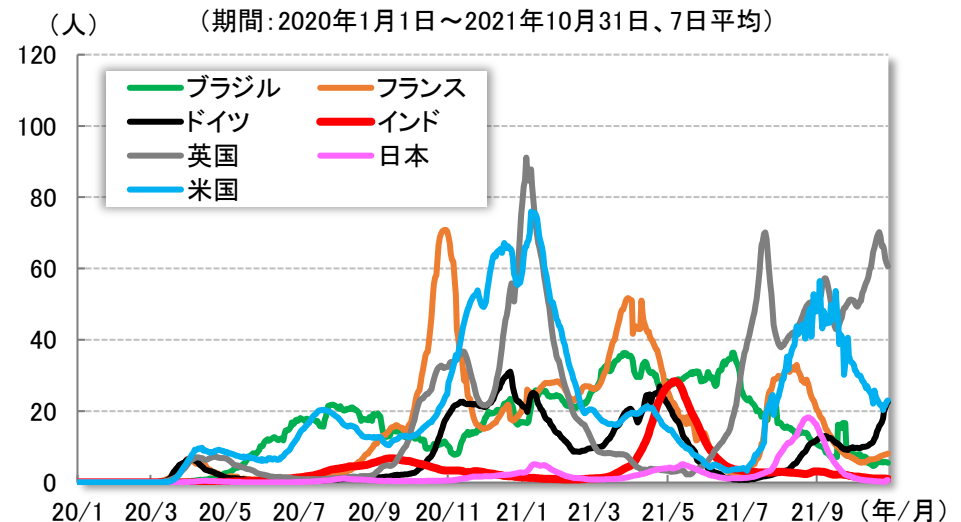
## インドの新規感染者数は減少、対策は局所的なものへと変化

- インドでの新型コロナウイルス新規感染者数は1日当たり約1.4万人(2021年10月末)と、落ち着きを取り戻しつつある状況です。
- 新型コロナウイルスのワクチン接種回数の増加(2021年10月22日時点で累計10.1億回)や、感染者数の減少によって、ショッピングモールやレストラン等も営業を再開し、経済活動の再開が進んでいます。また、感染拡大初期の全土的なロックダウンと異なり、2021年5月の第二波の際は地域毎の状況に応じて局所的なロックダウンを行い、インフラ、製造、物流等の経済の中核となる活動は制限しなかったため、経済活動への影響は限定的でした。
- ワクチン接種の状況や、第二波への対応を鑑みると、第三波が発生した場合でも広範囲にわたる感染再拡大や、厳しいロックダウンを実施する可能性は低く、インド経済に重大な影響を及ぼすものではないものと見込まれます。

新型コロナ新規感染者数



人口10万人あたり新型コロナ新規感染者数



出所:WHO、世界銀行のデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成。

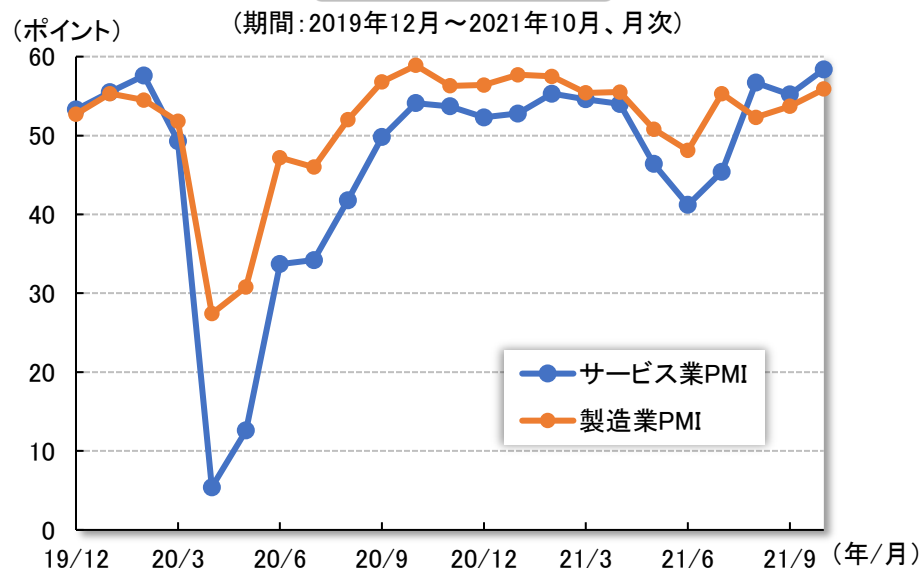
## PMIは両指数とも節目の50を回復

- インドの購買担当者景気指数(PMI)は、サービス業、製造業ともに直近3カ月連続で景気拡大の目安となる50を超えています。
- 特にサービス業PMIの値は10年ぶりの高水準で、企業活動が力強く回復していることを表しています。

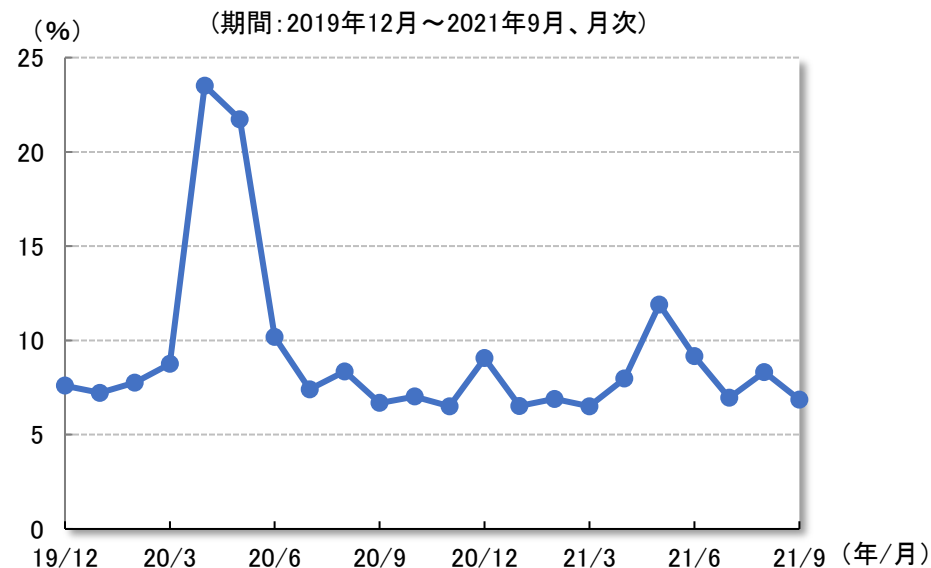
## 失業率はコロナ前の水準へ

- インドの失業率は2020年3月の全土的なロックダウンにより急激に上昇したものの、その後の政府による雇用対策等の効果もあり、既にコロナ感染拡大前の水準まで回復しています。

### インドPMIの推移



### インド失業率の推移

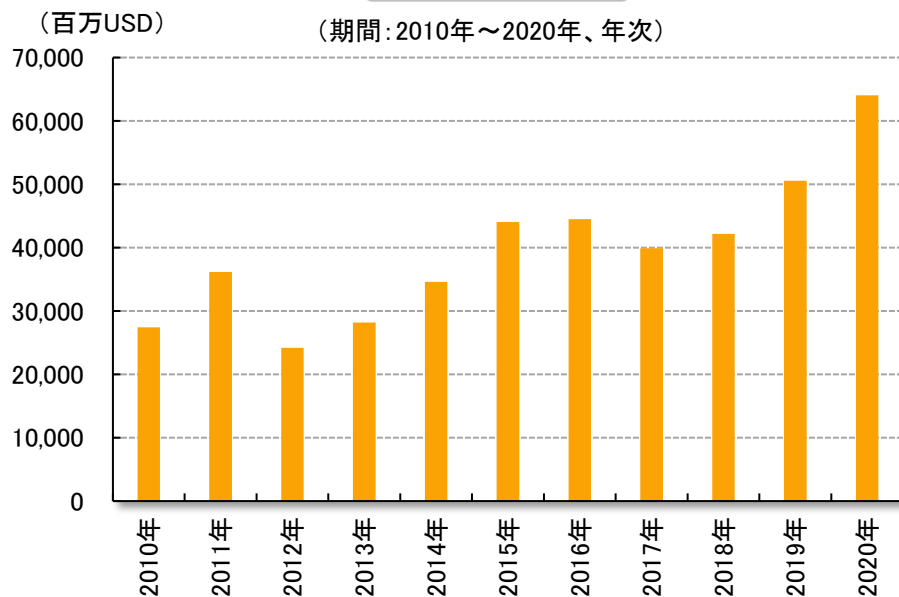


出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

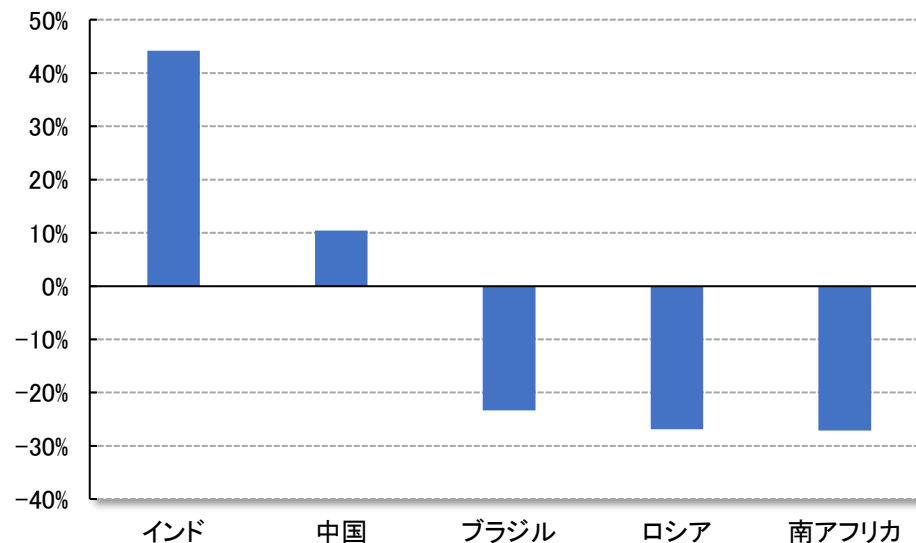
FDIは増加傾向、インドの経済成長の一翼に

- インドの長期的な成長性への期待の他、近年では政府が様々な規制緩和や製造業の工場誘致等の政策を打ち出した結果、インドへの外国直接投資は増加しました。
- 外国直接投資が増加することで、雇用機会の拡大、消費の増加等へ繋がり、インドの経済成長力が高まると期待されます。

インドのFDI推移



直近10年間のFDI累計額の前半(2011~2015年) および後半(2016年~2020年)との増減比較



※FDIの値はいずれも資金流出入(ネット)データ。

出所:国連貿易開発会議(UNCTAD)のデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成。

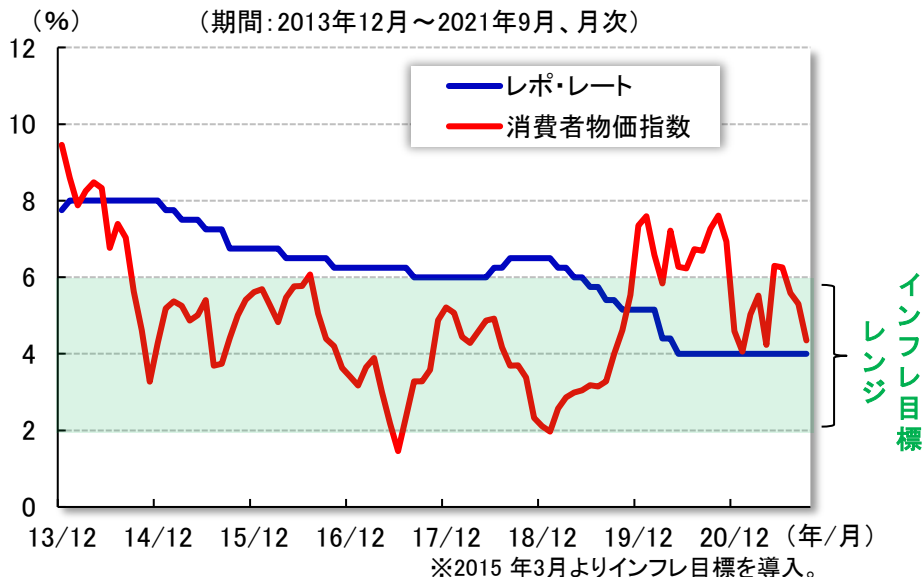
### 直近も目標レンジ内に収まるインフレ率

- 新型コロナウイルスによる経済の落ち込みに対応すべく、インドの中央銀行に当たるインド準備銀行(RBI)は、政策金利のレポ・レートを2020年4月に過去最低となる4%としました。
- 食料品の高騰による一時的な物価上昇はあったものの、現在は2~6%とするインフレ目標レンジ内にほぼ収まっている状況です。

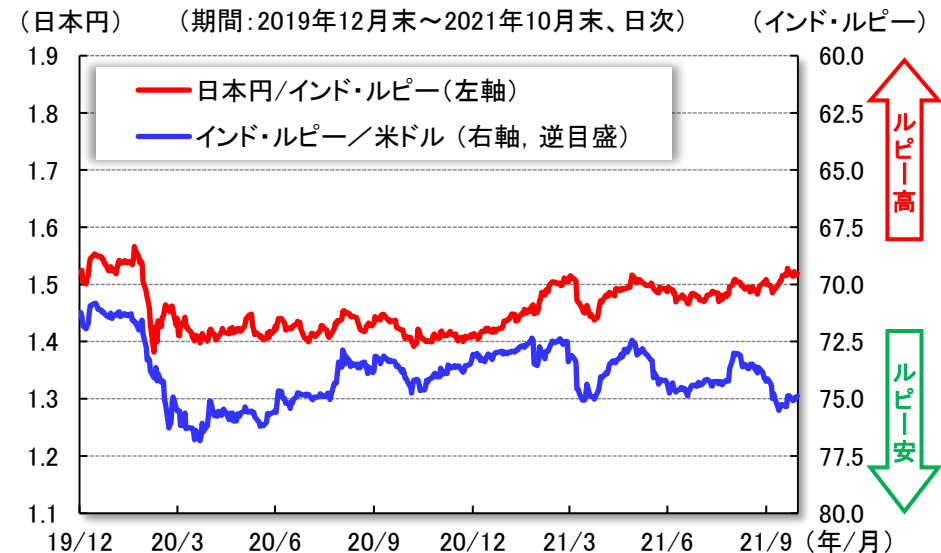
### インド・ルピーは安定的な動きが継続

- インド・ルピーはコロナショック前と比較しても対米ドル、対円ともに落ち着いた値動きが続いています。

#### 政策金利と消費者物価指数(CPI) (前年同月比)の推移



#### 為替レートの推移



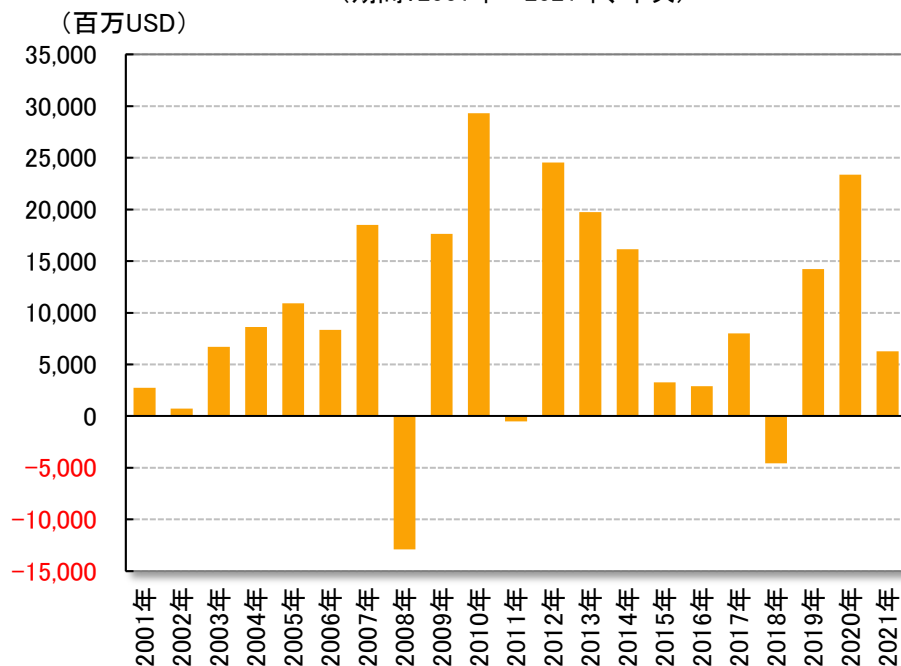
出所: ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成。

企業業績の継続的な伸び、海外からの資金流入が株式市場を下支え

- インド経済の高い成長力や、好調な企業業績等からインド株式市場は長期的に上昇基調が続いています。
- 海外からもインド株式市場への資金流入が続いており、インド株式市場を下支えしています。

外国証券投資(FII)の推移

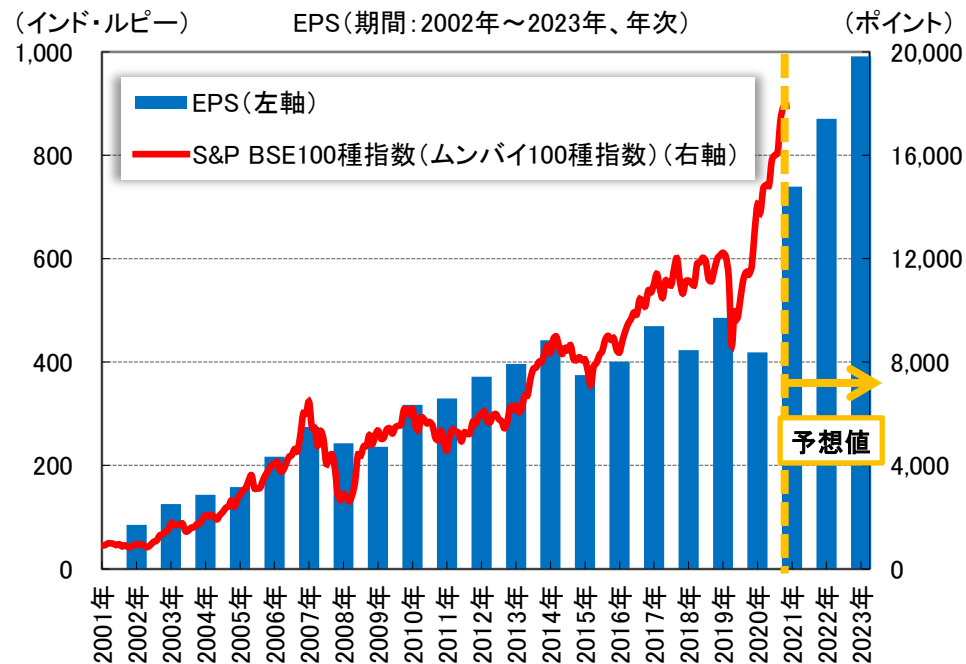
(期間: 2001年~2021年、年次)



※2021年の値は10月までの累計値

S&P BSE100種指数とEPSの推移

S&P BSE100種指数(期間: 2001年12月末~2021年10月末、月次)



※EPSの2021年以降は予想値

出所: ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成。

上記のデータは資料作成時において過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

＜本資料に関してご留意頂きたい事項＞

- ・当資料は、新生インベストメント・マネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・本資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- ・投資信託は値動きのある資産(外貨建て資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。  
したがって、元金を割込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

新生インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号

加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会